

平成29年度 学力向上推進プラン 2年

| | | 学年の目標 | 2学期末の児童の様子 | 3学期末の児童の様子 |
|-------------|--|--|--|--|
| 基礎・基本 | 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着を図るために、週に2、3回ミニテストを実施し、9割の児童が、学期末の漢字テスト90点以上、漢字ドリルの小テストを全て合格できることを目指します。 出来事の順序など文の構成を考えたり、主語、述語に気を付けたりしながら文を書くこと、既習の漢字を使って書くことを重点的に指導します。朝学習などで視写を行い書き方を学習し、それを活かせるように、日記の宿題を週に1回行います。 音読は授業の始めや毎日の宿題で繰り返し行うことで、声の大きさ、語のまとまり、登場人物の気持ちに気を付けて読めるようにします。 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字は7割の児童が定着してきています。日記など日頃から活用している児童は間違いが少ないです。 学芸会の練習を繰り返し行ったことにより、声の大きさ、語のまとまりに気を付けるようになりました。また、かさこじぞうでは、登場人物の気持ちを考えることができました。 | <ul style="list-style-type: none"> 学年末の漢字テストでは、3割の児童が1度のテストで90点以上を取ることができた。7割の児童も90点以上を取れるように繰り返し指導していきます。漢字小テストは9割の児童が合格することができた。 簡単な構成を考えて、文章を書くことができる児童が増えていきます。まだまだ既習の漢字を使って書くことを苦手としています。 |
| | 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 九九を全員が確実に唱えられるように、上り10秒以内に唱えるテストを全員が合格するまで行います。最終的には、9割の児童が九九を1分30秒以内に唱えることを目指します。 量や測定、図形については、算数的活動を取り入れて分かりやすくするとともに、日常生活でも活用することで習熟を図ります。計算問題については、朝学習などで繰り返し行うことで定着を図ります。 授業前に既習事項を確認することや家庭学習週間で東京ベーシックドリルを活用して、1年生までの基礎的な学習内容の習得を目指します。9割の児童が80点以上獲得できるようにします。できなかった児童には、補習等で習熟を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> 音読で繰り返し練習したため、2～5の段は9割の児童が覚えることができました。引き続き音読等で練習し、1～9の段を全員が言えるようにします。 問題を読んで自分で図を書いたり、半具体物などを活用したりすることで習熟を図ることができました。 家庭学習週間では、学習した内容をしっかりと振り返ることができました。 | <ul style="list-style-type: none"> 九九音読を9割の児童が1分30秒以内で言うことができます。1割の児童を個別に指導し、全員が唱えられる様にしています。 量や測定、図形には算数的活動を多く取り入れ、体験的に学ぶことで理解に繋がりました。しかし、時間が経つと忘れてしまう児童が多いので、朝学習の時間等を使って復習することで、定着を目指していきます。 1年生の学習内容を9割の児童が80点以上とすることができました。 |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに合った本や、教科に関連した本、文章量が多くても子どもたちにとって読みやすい本などを月に1回以上紹介して、読書の楽しさを味わわせるとともに、年間100冊以上読むことを目指します。 生活科の学習について、体験するだけでなく、本を使って調べる学習を4回(「野さい」、「まちのしせつ」、「生き物」、「動物」)行います。また調べたことを新聞などにまとめて発表をします。 | <ul style="list-style-type: none"> 読み語りや昼読書の時間にどの子どもも集中して本を読んでいます。 調べる学習にはどの子どもも意欲的に取り組んでいます。グループ発表会や生き物のことについては友だちと話し合いながらまとめることができました。 | <ul style="list-style-type: none"> 読み語りや昼読書、空いている時間を活用して、意欲的に読書に取り組む姿が見られた。8割の児童が年間100冊の本を読むことができた。 4回の調べ学習では、授業以外でも日常的な疑問や知りたいことを調べ、自主学習ノートにまとめる等、意欲的に取り組む児童が増えました。 |
| 思考力・判断力・表現力 | <ul style="list-style-type: none"> その時間の学習のめあてや課題を明確にします。課題を解決する場や材料を設定したり、既習事項の確認を行ったりすることで、自分の考えを書き(言葉、図、表、絵など)課題を深く追求する活動を継続的に行います。また、めあてを基に、授業の最後に分かったこと、感じたことを振り返ります。 各時間で自分の考えをもたせる時間を作ります。また、その考えに理由を添えるように指導します。その後、ペアやグループで話し合いをすることで、相手の意見を聞き、考えの幅を広げたり、深めたりすることができるようにします。友達の意見に関連して話したり、分かったことを伝えている児童を称賛し、伝え合う力が身に付くようにします。 | <ul style="list-style-type: none"> 1学期よりも自分で考え解決しようとする姿が見られました。友達の考えを聞いて、解決方法を学んだり試行錯誤しながら繰り返し取り組むことで考えをまとめることができるようになりました。 自分の考えを分かってもらうためには、理由を添えるとよいことに気が付くようになりました。まだ、分かりやすく伝えられる児童は少ないですが、今後も継続して行っています。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業の始めにめあてや既習事項を確認することで、自分の考えを書くことができるようになってきました。また、授業の最後に振り返ることで、授業後の学習感想では、5割の児童が達成感を味わうことができています。 自分の考えを理由を添えて話すことが8割の児童に定着しつつあります。自分の考えを言うことで終わってしまっているため、質問をしたり聞き返したりして、考えが深まるよう指導をしています。 | |
| 学習習慣 | <ul style="list-style-type: none"> 話し方名人、聞き方名人を掲示し、発表をする時や話を聞く時にそれぞれの大事なことを確認することで、話の内容を聞き取る、友達が聞きやすように話すことを意識させます。 次の学習の準備とチャイム着席の習慣化を目指します。できている児童を褒めたり、互いに声をかけ合ったりさせることで100%の定着を図ります。 宿題を100%忘れずに行い、持ってくるように指導をします。 明日の学習や持ち物、宿題の準備ができたか、連絡帳を見て用意するように声かけを行います。 家庭学習では、学年×15分以上行うように声かけをします。 | <ul style="list-style-type: none"> 全体発表の時に、話す人に体を向けるようになりました。しっかりできている子を褒めると、他の児童も意識するようになっていきます。 チャイム着席は行えるようになりました。次の学習の準備を忘れる子が2割ほどいるため、声をかけて定着を図っています。 忘れ物が無いように声をかけていますが2割の児童が宿題等を忘れていきます。前日に準備するように伝えていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 話を聞くときに、相手の方を向いて聞くことはできていますが、話の内容をきちんと捉えている児童は5割程度です。 チャイム着席は8割の児童が行えるようになりました。次の学習の準備も声をかけると全員が準備をすることができています。 忘れ物が無い様に学級全体で話し合う等取り組みました。漢字・音読・算数は9割の児童が、日記は7割の児童が提出しています。 | |